

淨土真宗本願寺派勤行 経文・意訳・作法説明付

ぶつせつあみだきょう

仏說阿彌陀經

○は調声（リーダー）が読む。●より一緒に読む。

合掌・礼拝・経本を頂く キン二打

○仏說阿彌陀經

姚秦三藏法師鳩摩羅什奉詔譯
ようしんさんぞうぼうしくまらじゅうぶしょくやく

五世紀初め姚秦の時代に鳩摩羅什三藏法師が訳す

●如是我聞・一時仏在・舍衛國・祇樹給孤独園・与大比丘衆・千二百五十人俱。

私はこのように聞きました。ある時、お釈迦様が舍衛国の祇園精舎においてになり、一二五〇人のすぐれた弟子たちと一緒でした。

皆是大阿羅漢・衆所知識・長老舍利弗・摩訶目犍連・摩訶迦葉・摩訶迦旃延。

皆が偉大で、世に知られた方々でした。長老の舍利弗をはじめ、摩訶目犍連・摩訶迦葉・摩訶迦旃延。

摩訶俱犍羅・離婆多・周利槃陀伽・難陀・阿難陀・羅睺羅・驕梵波提・賓頭盧頗羅墮。

摩訶俱犍羅・離婆多・周利槃陀伽・難陀・阿難陀・羅睺羅・驕梵波提・賓頭盧頗羅墮。

かるだい まかこうひんな はくら あぬるだ によぜどう しょだいでし びようしょぼさつ まかさつ
迦留陀夷・摩訶劫賓那・薄拘羅・阿菟樓駄・如是等・諸大弟子・并諸菩薩摩訶薩・

かるだい まかこうひんな はくら あぬるだ によぜどう しょだいでし びようしょぼさつ まかさつ
迦留陀夷・摩訶劫賓那・薄拘羅・阿菟樓駄などのすぐれた弟子達です。また、菩薩方もおいでになり、
文殊師利法王子・阿逸多菩薩・乾陀訶提菩薩・常精進菩薩・與如是等・

もんじゅしりほうおうじ あいつたぼさつ けんだかだいぼさつ じょうしようじんぼさう
文殊菩薩・弥勒菩薩・乾陀訶提菩薩・常精進菩薩などの

しょだいぼさつ ぎゆうしゃくだいかんいんとう むりょうしよてん だいしゆく
諸大菩薩・及釈提桓因等・無量諸天・大衆俱・

ほさつ たいしゃくとん てんにん
多くの菩薩方や、帝釈天などの天人たちも大勢と一緒にでした。

にじぶつこう ちようろうしゃりほつ じゅうぜさいほう かじゅうまんのくぶつと うせかい みようわづごくらく
爾時佛告・長老舍利弗・從是西方・過十萬億佛土・有世界・名曰極樂・其土有佛・

その時、お釈迦様が長老の舍利弗にお話をされました。「ここから西の方角へ、十万億の仏の国々を超えたところに、また国があり、その名を極楽という。その国の仏の名を

ごうあみだ こんげんざいせっぽう しゃりほつ ひどがこ みよういごくらく ごこくしゅじよう
號阿彌陀・今現在說法・舍利弗・彼土何故・名爲極樂・其國衆生・

阿彌陀という。今現在も教えを説かれている。舍利弗よ、彼の国を何故極楽というのだ。その国の人々
は、

むうしゆく たんじゅしょらく こみようごくらく うしやりほつ ごくらつこくど しちじゅうらんじゅん
無有衆苦・但受諸樂・故名極樂・又舍利弗・極樂國土・七重欄楯・

いかなる苦しみもなく、まことの楽しみのみがある。だから極楽ごくらくというのだ。また舍利弗よ、極樂世界は七重の欄干らんかんに囲われ、

七重羅網・七重行樹・皆是四寶・周匝圓繞・是故彼國・名曰極樂。

七重の宝珠でできた網で覆われ、七重の並木に廻られている。それらはみな宝石でできており、あらゆるところをくまなく巡り廻んでいる。だから極樂ごくらくというのだ。

又舍利弗・極樂國土・有七寶池・八功德水・充滿其中・池底純以。

また舍利弗よ、極樂には七つの宝で飾られた池があり、八種の功德の水で満たされている。池の底には、金沙布地・四辺階道・金銀瑠璃・玻瓈合成・上有樓閣・亦以金銀るりはりあり、金・銀・樓閣ろうかくがあり、金・銀・

瑠璃・玻瓈碑礎・赤珠碼礎・而嚴飾之・池中蓮華・大如車輪。

瑠璃・玻瓈・碑礎・赤珠・碼礎で飾られている。池には車輪のように大きな蓮の花が咲いており、

青 色 青 光・黃色 黃光・赤 色 赤 光・白 色 白 光・微妙 香 潔・

青の花は青く光り、黄色の花は黄色に光り、赤の花は赤色に光り、白の花は白く光り、どれも清らかないい香りがする。

舍利弗・極樂國土・成就如是・功德莊嚴・又舍利弗・彼仏國土・

舍利弗よ、極樂淨土はこのようにできてある。また舍利弗よ、極樂淨土はまた、

常作天樂・黃金爲地・晝夜六時・而雨曼陀羅華・其國衆生・常以清旦・

素晴らしい音楽が流れている。大地は黄金ででき、一日中、花が舞っている。その国の人々は、毎朝、器に

各以衣械・盛衆妙華・供養他方・十萬億佛・即以食時・還到本国・

花を盛り、他の国の十万億の仏方を供養する。お昼までには戻り、食事をした後、静かに歩いている。

飯食經行・舍利弗・極樂國土・成就如是・功德莊嚴・復次舍利弗・

舍利弗よ、極樂國土はこのようにできている。また舍利弗よ、

彼國常有・種種奇妙・雜色之鳥・白鵠孔雀・鸚鵡舍利・迦陵頻伽・共命之鳥・

彼の国には色とりどりの不思議な鳥がいる。白鳥・孔雀・オウム・シャリ・カラビンカ・共命鳥である。

是諸衆鳥・昼夜六時・出和雅音・其音演暢・五根五力・七菩提分・八聖道分・

これらの鳥は法要の時間になると美しく鳴く。その鳴き声は、五根・五力・七菩提分・八聖道分などの如是等法・其土衆生・聞是音已・皆悉念佛・念法念僧・舍利弗・汝勿謂此鳥・

教えを説いている。その国の人々は、鳥たちの声を聞いて、みな仏を尊び、法を尊び、僧を尊ぶ。舍利弗よ、これらの鳥は、

是諸衆鳥・昼夜六時・出和雅音・其音演暢・五根五力・七菩提分・八聖道分などの如是等法・其土衆生・聞是音已・皆悉念佛・念法念僧・舍利弗・汝勿謂此鳥・

罪の報いで鳥として生まれているのではない。極楽浄土には、地獄・餓鬼・畜生の者はいないのだ。舍利弗よ、極楽浄土には、

是諸衆鳥・昼夜六時・出和雅音・其音演暢・五根五力・七菩提分・八聖道分などの如是等法・其土衆生・聞是音已・皆悉念佛・念法念僧・舍利弗・汝勿謂此鳥・

それらの名前すらない。だからいるわけもないのだ。これらの鳥は、阿弥陀仏が法を届けようと変化なさうた姿なのだ。

尚無三惡道之名・何況有實・是諸衆鳥・皆是阿彌陀佛・欲令法音宣流・變化所作・

これらの鳥は、阿弥陀仏が法を届けようと変化なさうた姿なのだ。

舍利弗・彼佛國土・微風吹動・諸宝行樹・及宝羅網・出微妙音・

これらの鳥は、阿弥陀仏が法を届けようと変化なさうた姿なのだ。

舍利弗よ、極楽浄土はなんとも心地いい風が吹き、宝の並木や宝の網から、心地よい音ができる。

ひによひやくせんじゅがく どうじくさ もんぜおんしゃ かいじねんじょう ねんぶつねんぱう
譬 如 百 千 種 樂 同 時 具 作 聞 是 音 者 皆 自 然 生 念 佛 念 法

例えるならば、百千の音楽を、同時に奏でているようなものだ。その音を聞くものは、皆自ずと仏を尊び、法を尊び、

ねんそうしじん しゃりほつ ごぶつ こくど じょうじゅにょせ くどくしょうごん
念 僧 之 心 舍 利 弗 是 佛 国 土 成 就 如 是 功 德 莊 嚴

そう そう そう そう そう
僧 を 尊 ぶ。 舍 利 弗 よ、 極 樂 净 土 は この よう に 嚴 か で あ る。

キン二打又は一打

しゃりほつ おによいうんが ひぶつがこ ごうあみだ しゃりほつ ひぶつこうみようむりよう
○ 舍 利 弗 ● 於 汝 意 云 何 彼 佛 何 故 號 阿 彌 陀 舍 利 弗 彼 佛 光 明 無 量

しゃりほつ しゃりほつ あみだ しゃりほつ あみだぶつ じひ
舍 利 弗 よ、 そ の 国 の 仏 の 名 を 何 故 阿 弥 陀 と い う の だ ろ う か。 舍 利 弗 よ、 阿 弥 陀 仏 の 慈 悲 の 光 は ど こ ま で
も は て し な く、

しょうじつぼうこく むしよしょうげ せここういあみだ うしゃりほつ ひぶつじゅみよう ぎゆうごにんみん
照 十 方 国 無 所 障 碍 是 故 號 阿 彌 陀 又 舍 利 弗 彼 佛 寿 命 及 其 人 民

じょうぶつ あみだぶつ あみだぶつ あみだぶつ じひ
す べ て の 国 々 を 照 ら し て い て、 遮 る も の が な い。 だ か ら 阿 弥 陀 と い う の だ。 ま た 舍 利 弗 よ、 阿 弥 陀 仏 や
净 土 の 人 々 の 寿 命 も 限 り が な い。

むりょうむへん あそきこく こみよあみだ しゃりほつ あみだぶつ じようぶつ おこんじっこう
無 量 無 辺 阿 僧 祇 劫 故 名 阿 彌 陀 舍 利 弗 阿 彌 陀 佛 成 佛 已 来 於 今 十 劫

だから阿弥陀^{あみだ}というのだ。舍利弗よ、阿弥陀仏は仏に成られてから、十劫^{じっこう}というはるかに長い月日が経つている。

又舍利弗・彼佛有無量無辺・声聞弟子・皆阿羅漢・非是算數・之所能知・

また舍利弗よ、阿弥陀仏のもとにには数えきれない教えを聞く弟子たちがいて、皆阿羅漢^{あらかん}といふことを得ている。

諸菩薩衆・亦復如是・舍利弗・彼佛國土・成就如是・功德莊嚴・

菩薩たちも同じで、数えきることができない。舍利弗よ、阿弥陀仏の国は、このように嚴かなのだ。

又舍利弗・極樂國土・衆生生者・皆是阿鞞跋致・其中多有・一生補處・

また舍利弗よ、極樂国土に生まれた人々は皆仏に成ることができる。その中には、迷いの世に還り、迷う人をすぐおうとされる方がいる。

其數甚多・非是算數・所能知之・但可以無量無辺・阿僧祇劫說・舍利弗・

その数は計り知れない。舍利弗よ、

衆生聞者・應當發願・願生彼國・所以者何・得與如是・諸上善人・

これを聞いた人々は、極樂淨土に生まれたいと願うがよい。なぜかと言えば、極樂の人々と

俱會一處・舍利弗・不可以少善根・福德因縁・得生彼國・舍利弗・

同じところで会えるからだ。舍利弗よ、その国に生まれるには、自分で積み上げる善では到底無理である。舍利弗よ、

若有善男子・善女人・聞説阿彌陀佛・執持名號・若一日・若二日・

念佛の教えを聞く人々は、阿彌陀仏が私の為に仏となられ、功德を南無阿彌陀仏にこめられ、その念佛は仏の喚び声であつたと、

若三日・若四日・若五日・若六日・若七日・一心不亂・

日にちの長さに限らず、こちらから戴くならば、

其人臨命終時・阿彌陀佛・與諸聖衆・現在其前・是人終時・心不顛倒・

その人の臨終において、阿彌陀仏が多くの聖者と共に現れてくださる。その人がいよいよ命が尽きるとき、心穏やかに

即得往生・阿彌陀佛・極樂國土・舍利弗・我見是利・故說此言・

阿彌陀仏の極樂淨土に生まれることができる。舍利弗よ、私はこれらの利益があるから説いているのだ。

若有衆生・聞是說者・應當發願・生彼國土・舍利弗・如我今者・

もし人々の中で、この教えを聞くものがいるならば、極樂淨土に生まれたいと願うがよい。舍利弗よ、私が、

讃歎阿彌陀佛・不可思議功德・東方亦有・阿閦軀佛・須弥相佛・大須弥佛・
阿彌陀仏の不可思議な功德を褒め称えているように、東方にも、阿閦軀佛・須弥相佛・大須弥佛・
須弥光佛・妙音佛などの無数の仏がそれぞれの国で、

須弥光佛・妙音佛などの無数の仏がそれぞれの国で、

出廣長舌相・徧覆三千・大千世界・說誠實言・汝等衆生・

まことの舌を持つて、あらゆる世界を覆い、眞実であることを説かれる。へそなた達は、

當信是稱讚・不可思議功德・一切諸佛・所護念經・舍利弗・南方世界・

『すべての仏が阿彌陀仏の功德は素晴らしいと称讃し、すべての仏に護られる經』を信じるがよい。』と。

舍利弗よ、南方にも、

有日月燈佛・名聞光佛・大焰肩佛・須弥燈佛・無量精進佛・

日月燈佛・名聞光佛・大焰肩佛・須弥燈佛・無量精進佛などの

如是等・恒河沙數諸佛・各於其國・出廣長舌相・徧覆三千。

無數の仏がそれぞれの国で、まことの舌を持つて、あらゆる世界を覆い、

大千世界・說誠實言・汝等衆生・當信是稱讚・不可思議功德・

眞実であることを説かれる。へそなた達は、『すべての仏が阿弥陀仏の功德は素晴らしいと称讃し、すべての仏に護られる経』を信じるがよい。』と。舍利弗よ、西方にも、無量寿佛・無量相佛・

無量幢佛・大光佛・大明佛・宝相佛・淨光佛などの

無量幢佛・大光佛・大明佛・宝相佛・淨光佛などの

恒河沙數諸佛・各於其國・出廣長舌相・徧覆三千・大千世界・

無数の仏がそれぞれの国で、まことの舌を持つて、あらゆる世界を覆い、

說誠實言・汝等衆生・當信是稱讚・不可思議功德・一切諸佛・

眞実であることを説かれる。へそなた達は、『すべての仏が阿弥陀仏の功德は素晴らしいと称讃し、すべて

の仏に

所護念經・舍利弗・北方世界・有焰肩佛・最勝音佛・難沮佛・

護られる經』を信じるがよい。』と。舍利弗よ、北方にも、焰肩佛・最勝音佛・難沮佛・

日生佛・網明佛など、無数の仏がそれぞれの国で、

日生佛・網明佛など

まことの舌を持つて、あらゆる世界を覆い、眞実であることを説かれる。『そなた達は、

出廣長舌相・徧覆三千・大千世界・說誠實言・汝等衆生・

當信是稱讚・不可思議功德・一切諸佛・所護念經・舍利弗・下方世界・

『すべての仏が阿弥陀仏の功德は素晴らしいと称讃し、すべての仏に護られる經』を信じるがよい。』と。

舍利弗よ、下方にも

有師子佛・名聞佛・名光佛・達摩佛・法幢佛・持法佛・如是等・

師子佛・名聞佛・名光佛・達摩佛・法幢佛・持法佛など

ごうがしゃしゃしうしょぶつ かくおこくすいこうじょうせつそうへんぶさんせん だいせんせかい
恒河沙數諸佛・各於其國・出廣長舌相・徧覆三千・大千世界・

無数の仏がそれぞれの国で、まことの舌を持つて、あらゆる世界を覆い、

せつじょうじつごん によとうしゅじょう どうしんせしょうさん ふかしきくどく いつきいしょぶつ
説 誠 實 言・汝 等 衆 生・當 信 是 稱 讚・不 可 思 議 功 德・一 切 諸 佛・

真実であることを説かれる。へそなた達は、『すべての仏が阿弥陀仏の功德は素晴らしいと称讃し、すべての仏に

しょごねんぎょう しゃりほつ じょうほうせかい うほんのんぶつ しゅくおうぶつ こうじょうぶつ
所 護 念 經・舍 利 弗・上 方 世 界・有 梵 音 佛・宿 王 佛・香 上 佛・

護られる経』を信じるがよい。』と。舍利弗よ、上方にも梵音佛・宿王佛・香上佛・

香 光 佛・大 焰 肩 佛・雜 色 宝 華 嚴 身 佛・娑 羅 樹 王 佛・宝 華 德 佛・

香光佛・大焰肩佛・雜色宝華嚴身佛・娑羅樹王佛・寶華德佛・

見 一 切 義 佛・如 須 弥 山 佛・如 是 等・恒 河 沙 数 諸 佛・各 於 其 国・出 廣 長 舌 相・偏 覆 三 千・

見 一 切 義 佛・如 須 弥 山 佛などの無数の仏がそれぞれの国で、まことの舌を持つて、あらゆる世界を覆い、
大 千 世 界・說 誠 實 言・汝 等 衆 生・當 信 是 稱 讚・不 可 思 議 功 德・

眞実であることを説かれる。へそなた達は、『すべての仏が阿弥陀仏の功德は素晴らしいと称讃し、

一 切 諸 佛・所 護 念 經・舍 利 弗・於 汝 意 云 何・何 故 名 爲・一 切 諸 佛・

すべての仏に護られる経』を信じるがよい。』と。舍利弗よ、何故この経の名を『すべての仏に

所護念經・舍利弗・若有善男子・善女人・聞是諸佛所說名・

護られる經』といふのだろうか。舍利弗よ、人々の中で仏がたが称讃される阿弥陀仏の名と及経名者・是諸善男子・善女人・皆爲一切諸佛・共所護念・

この經の名をよく聞くならば、皆すべての仏がたに護られ、

かいとくふたいてん おあのくたら さんみやくさんぼだい ぜこしやりほつ によとうかいとう
皆得不退転・於阿彌多羅・三藐三菩提・是故舍利弗・汝等皆當・

必ず仏にさせさせていただける。だから舍利弗よ、そなたちは皆、

しんじゆがご ぎうしょぶつしょせつ しゃりほつ にやくうにん いほつがん こんぱつがん どうほつがん
信受我語・及諸佛所說・舍利弗・若有人・已發願・今發願・當發願・

私が説くことと、仏がたが説かれることを深く信じるがよい。舍利弗よ、もし人々の中で、阿弥陀仏の
ごくらくじょうど 極樂淨土に生まれたいと、すでに願い、今願い、これから願う人は皆、

よくしようあみだぶつこくしや せしよにんどう かいとくふたいてん おあのくたら さんみやくさんぼだい
欲生阿彌陀佛國者・是諸人等・皆得不退転・於阿彌多羅・三藐三菩提・是故舍利弗・諸善男子・

必ず仏にさせさせていただける。

おひこくど にやくいしよう にやくこんじよう にやくとうしよう せこしやりほつ しょせんなんし
於彼國土・若已生・若今生・若當生・是故舍利弗・諸善男子・

その為に、極樂にすでに生まれ、今生まれ、これから生まれるだろう。だから舍利弗よ、

善女人・若有信者・應當發願・生彼國土・舍利弗・如我今者・

念佛をいただく人々は極樂淨土に生まれたいと願うがよい。舍利弗よ、私が今、

稱讚諸佛・不可思議功德・彼諸佛等・亦稱說我・不可思議功德・而作是言・

私がたの功德を称讚しているように、私がたもまた私の功德を称讚し、こう言われる。

釋迦牟尼佛・能爲甚難・希有之事・能於娑婆國土・五濁惡世・劫濁見濁・

（ヘ）釋迦牟尼佛は世にもまれな難しい事を成し遂げられた。この世は、濁りにみちており、時代は乱れ、思想は乱れ、

煩惱濁・衆生濁・命濁中・得阿耨多羅・三藐三菩提・

煩惱は激しく、人々は敬いを忘れ、いのちを粗末にしている。その中で悟りを開き、

爲諸衆生・說是一切世間・難信之法・舍利弗・當知我於・五濁惡世・

多くの人々の為に、信じがたいほど尊い教えをお説きになられた。と。舍利弗よ、よく知るがよい。私は、この濁りに満ちた世において、

行此難事・得阿耨多羅・三藐三菩提・爲一切世間・說此難信之法・

成し難い事を成し遂げ、悟りを得て、すべての世の人々の為に、この信じがたいほどの尊い教えを説いたのだ。これこそ、まさに難しい事であった。」と。

是爲甚難・佛說此經已・舍利弗・及諸比丘・一切世間・天人阿修羅等。

お釈迦様はこの経を説き終わると、舍利弗や他の弟子達、天人達、阿修羅などは、大いに喜び心に受け止め、

聞佛所說・歡喜信受・作禮而去・仏說阿彌陀經

礼拝してその場を去られました。

キン一打

○南無阿彌陀仏

キン一打 ×五

キン一打

●南無阿彌陀仏

○願以此功德 ●平等施一切同發菩提心 往生安樂國

どうかこの阿彌陀如来の功德によつて 平等に届く阿彌陀如来の御名を聞き 共にこれをよろこび 安樂
(極楽)淨土に、往生させていただきましよう

キン二打 経本を頂く・合掌・礼拝

阿弥陀経とは

淨土三部経の一つで「小経」とも言

います。

お釈迦様が祇園精舎で舍利弗に説

かれています。極楽淨土の様子、

阿弥陀仏の名の由来、念佛のいわれ

を聞き称えること、六方の仏がたが

阿弥陀仏を称讃されてゐる」とが説

かれています。

読み方などわからないことがあれば、Y o u T

u b e チャンネル内の「お家で阿弥陀経を読もう」を参考にしてください。他の勤行や仏教紙芝居、ドット絵アニメ、節談説教もありますのでぜひご覧ください。

西光寺チャンネル	
阿弥陀経を読もう	
 阿弥陀経	

淨土真宗本願寺派西光寺

千葉県市原市根田七二三一

TEL ○四三六一一七四一

E-mail saikohji@saikohji.net

HP 「市原市 西光寺」で検索かQRで